

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	正常範囲でコントロールされた緑内障における当院でのトラベクロトミー眼内法の術後成績に関する検討 [倫理審査受付番号：第 5256 号]
研究責任者氏名	田片 将士
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2026 年 1 月 20 日～2028 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 緑内障/ 診療科名等： 眼科
	受診日：西暦 2020 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 20 日～
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	トラベクロトミーは従来結膜や強膜を切開して金属製プローブを用いて線維柱帯と呼ばれる房水流出抵抗を高めている場所を切開することで眼圧下降を行う術式ですが、トラベクロトミー眼内法は眼内より隅角鏡で直接線維柱帯を観察して切開するという方法です。従来のやり方と比較し低侵襲であるため、近年多く行われている術式です。兵庫医科大学病院にて手術前の眼圧が 21mmHg 以下の方でトラベクロトミー眼内法を行った方の術前後の眼圧と使用薬剤数など手術の術後経過を解析し、術後成績を検討するとともに高い手術効果が期待できる何かしらの因子がないかどうかを検討することで今後の臨床における術式選択に役立てます。
研究の方法	2020 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までに兵庫医科大学病院に受診し、緑内障にて眼圧が 21mmHg 以下の状態でトラベクロトミー眼内法を施行された 20 歳以上の方の内、6 か月以上経過観察できた方の診療録から眼圧、緑内障薬剤数、合併症有無、年齢、性別、緑内障病型、水晶体の有無、術前内服薬の種類、白内障同時手術の有無、角膜厚、前房深度、視野データ、網膜光干涉断層計検査データ、線維柱帯切開範囲、術後一過性高眼圧の有無、術後前房出

	<p>血の有無について 2020 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 20 日までのデータを収集します。収集するデータに基づいて、術後成績および手術効果の強弱に関わる因子についての後ろ向きに検討を行います。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等：眼科学教室 担当者氏名：田片 将士 [電話] （平日 9～17 時 15 分） 0798－45－6462 （上記時間以外） 0798－45－6111</p>